

基本的な生活習慣「手洗い・うがい」


ねらい

- 教師と一緒に手を洗ったり、うがいをしたりして正しい仕方を
知る。
- 図で示された手洗いの方法を確認しながら、正しい手の洗い方を身
につける。
- 外から帰った時や、食べたあとのうがいの仕方を
知る。

対 象

- 二年保育年少児

展開例

幼児の姿	教師の援助
<p>4月中旬</p> <p>園庭で遊んだあと、保育室へ入る。</p> <p>手洗い、うがいはしているが、数人は手に水をかけているだけだったり、口に水を含んで出したりしている。</p> <p>「外から帰ったら、石けんで手を洗わなあかな。」 「そうやで、バイ菌いっぱい付いてるから。」</p> <p>「ごろごろうがい！」 「お口の中のバイ菌を水で外に出すねんな。」</p> <p>「お弁当の後は、ぶくぶくうがいをするねんで。」</p>	<p>「手洗い、うがいをしてお部屋に入りましょう。」と、幼児たちに声をかける。</p> <p>「あっ、手洗いやうがいはどうしたらよかったのかな。」と、一人一人の様子を見ながら声をかける。</p> <p>「そうやね」と幼児の気づきを認め うがい、手洗いを丁寧にしているか、確認しながら、教師も一緒にする。</p>  <p>「外から帰った時の、うがいはどうするんだったかな。」と、うがいをしている幼児の横で再確認する。</p> <p>「そしたら、弁当やおやつのは、どうしたらいいのかな。」</p>

「気持ちいい。」
 「すーっとした気持ちができる。」
 「ピカピカになったよ。」



5月中旬

「よく覚えていたね。」と認め、
 「うがいや手洗いをした後のきもちはどう？」とたずねる。

「そうやね。お外から帰ったら丁寧に手洗いうがいがいしようね」

園生活に慣れてくると、だんだん洗い方を簡単に済ませようとする幼児がいるので、手洗い場に、“きちんとあらってばいきんさようなら”の洗い方を図示したものを掲示しておく。

きちんと あらって ばいきん さようなら

 のポーズ	 のポーズ	 のポーズ	 のポーズ	 のポーズ	 のポーズ
					
てのひらをあわせてスリスリ。まずは、いちばんひろいところからしっかりとね。	おやこガメのようにりょうてをかさねてスリスリ。わずれがちなてのこうを、きちんとね。	ゆびをくんで、さんかくのおやまをつかってゴシゴシ。あらいにくいゆびのあいだも、きちんとね。	おおかみのように、つめをたててゴシゴシ。なかにかくれたばいきんを、おいだそうね。	ばいくのうんてんみたいに、おやゆびをつけねからグリグリ。おくちにはいりやすいゆびだからね。	てくびをにぎってグリグリ。つくえにあたるてくびは、いがいによごれているね。

きちんと手洗いましたか？

「あっ、こんなんかいてる。」
 「手の洗い方や。」と興味津々で、さっそく手を洗い、泡立てる。
 「これお山のポーズ。」
 「ブルーンブルーン、バイクやで。」と楽しんで手洗いをしている。

遊びながらではあるが、興味をもっていねいに洗えるようになってきたことを認める。

手洗いが遊びとして長くなならないように、配慮していく。

教材

○ライオン株式会社「バイ菌とたたかうプロジェクト」参照
 (<http://baikin-tatakau.jp/syukan/>)